

## クラスルールの変更承認、3月1日から有効

ISAFの11月総会でテザークラスルールの変更が承認されました。新ルールは2005年3月1日から有効となります。

世界テザークラス協会のウェブサイト(www.tasar.org)に新ルールが掲載されました。できるだけ早い時期に日本テザー協会のサイトにも日本語版を掲載する予定です。

クラスルール変更に伴い、新たな計測項目として(C.2.2(K)-シュラウドトラックからシュラウドプルバックハンドル、(F.1.5)-マストハウンドからデッキまでの2点が変わり、計測方法の変更として(C.2.3(d)-メインシートストロップ長の下限值、新たな検査項目として(F.3.2)-トップマストサポート方法が追加されます。禁止項目として、海上でのシュラウドとフォアステー全長の変更禁止(C.8.1)が新たに加わります。

クラスルールの変更箇所は次の5項目です

### シュラウドプルバック

C.2.2(k)

簡単なラインとブロックで機械的に2倍力にする仕掛けを設けて、シュラウド(サイドステイ)のスライドをスムーズに動かせるようにしてもよい。機械的な力を増加させないターニングブロックをトラックのすぐ後ろに追加しても良い。スライドを最前にしてラインを真っ直ぐ伸ばした状態で、トラックの後端からプルバックハンドルのベアリングポイントまでの長さは150mmを超えてはならない。

### メインシートストラップの長さ

C.2.3(d)

メインシートは4倍力または5倍力のリグとしなければならない。メインシートストロップの両側のベアリングポイント間の長さは240mm以下であってはならない。またラインと取り替えても良い。ストロップの長さは調節可能であってはならない。ストロップはメインシートブロックシステムの上または下に装着してよい。

### ハウンドからデッキまでの計測

F.1.5

ハウンドのベアリングポイントからマストステップの直前のデッキまでの長さは3720mmより短くてはいけない。

### トップマストのサポート方法

F.3.2

トップマストはダイヤモンドボルトに装着した挿入物(トップマストのスリーブと同一部材)の上に載せる形で支えなければならない。

### セーリング中のフォアステーとサイドステイの調整

C.8 安全

C.8.1

フォアステーとサイドステイの全長は、ボートが岸かドックにいる間のみ変更できる。

2005/1/11

メジャラー・金子文雄